

安心安全にお薬をご使用していただくために

薬剤部は、医薬品を専門に取り扱う部門として、薬物療法の有効性と安全性を確保し患者さんが安心して治療を受けていただけるよう、処方箋に基づく調剤、注射薬の無菌調製、服薬指導などを通して医薬品の適正使用及び安全管理に取り組んでいます。

2020年1月の外来棟開院にあたり、それまで院内に分散していた調剤や薬品の取り揃え等の主要業務を行う薬剤部門の機能が外来棟に集約され、全体の進捗状況が把握しやすくなり、繁忙時には応援体制をとることができるようになり業務を停滞させることがなくなりました。あわせて業務のシステムを見直し、システム化が可能なものは機械化を推進しています。調剤においては、散薬調剤ロボットや全自動錠剤払出機を、注射薬の調製においては抗がん薬混合調剤ロボットや抗がん薬調製支援システムを導入し、ヒューマンエラーの軽減および調剤業務の効率化が図られたことで、患者さんのお待ちの時間が短くなり服薬指導に充てられる時間が増えるなど、より薬剤師の職能や専門性を発揮できる業務への転化を進めています。

外来棟移転後の新たな取り組みとして、外来棟1階のサポートエリアにおいて、外来受診の患者さんを対象に常用薬確認を行っています。その中で、薬剤アレルギー歴やサプリメントおよび健康食品などの摂取状況、ご自宅でのお薬の服用状況の確認を行っています。また、手術目的で入院予定の患者さんには、手術前に一時休薬が必要なお薬の服用有無を確認し、休薬が必要なお薬がある場合は主治医へ情報提供を行うとともに、病棟担当薬剤師とも共有し、患者さんが入院後も引き続きお薬を安全に使用し、適切に手術を受けられるよう支援しています。



調剤

薬剤部では、これからも患者さんに寄り添い、他職種のスタッフと協力しながら、医療チームの一員として安心安全な薬物療法の推進に努めています。

お薬に関するお問い合わせ等ございましたら、遠慮なくお声かけ下さい。



注射薬の無菌調製

スタッフ紹介

外来手術室

専門分野 耳鼻咽喉科

手術部診療部長
おおとり のぶよし
鴻 信義

出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成元年
出身地 千葉県千葉市
趣味 音楽鑑賞
好きな言葉 努力は必ず報われる



すべての患者さんが安心して手術を受けて頂ける環境を整えることに尽力いたします。

専門分野 白内障手術、iStent緑内障手術

眼科 外来手術担当医
ますだ よういちろう
増田 洋一郎

出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成9年
出身地 神奈川県横浜市
趣味 ロードバイク
好きな言葉 常識を疑う・捲土重来



プロフェッショナルとしての仕事を、患者さんに優しく行わせていただくことを心がけております。

専門分野 尿路上皮癌 前立腺癌

泌尿器科 外来手術担当医
きむら しょうご
木村 章嗣

出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成19年
出身地 東京都葛飾区
趣味 体を動かす事、筋トレ
好きな言葉 一生懸命



手術室という特殊な環境ですが、患者さんの不安を取り除ける診療を心がけていきます。

外来手術室

専門分野 皮膚科小手術

皮膚科 外来手術担当医
まつざき ひろゆき
松崎 大幸

出身大学 東京慈恵会医科大学
卒年 平成19年
出身地 福島県いわき市
趣味 ランニング、フットサル
好きな言葉 人間万事塞翁が馬



自分や自分の家族がその手術を受けたらどう思うか、ということを常に頭に入れながら取り組んでおります。

専門分野 形成一般、乳房再建

形成外科 外来手術担当医
もりやま そう
森山 壮

出身大学 聖マリアンナ医科大学
卒年 平成21年 趣味 読書
出身地 東京都江戸川区
好きな言葉 やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば人は動かじ



形成外科は、できる限り小さく、きれいで目立ちにくい傷跡を目指して日々、手術しています。

専門分野 看護管理、手術看護

手術部 看護師長
こしょうご かよこ
向後 加代子

出身大学 東京慈恵会医科大学大学院看護学専攻修士課程
卒年 平成25年卒
出身地 千葉県佐倉市
趣味 旅行、音楽鑑賞
好きな言葉 あきらめない!!



患者さんお一人お一人の思いに寄り添い、安心して手術が受けられるようサポートさせていただきます。

すこやか インフォメーション

慈恵大学病院だより



特集

外来手術室が 中央棟にリニューアルオープン!

スタッフ紹介
外来手術室

Information

安心安全にお薬をご使用していただくために



東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18

TEL 03-3433-1111(代)

URL <https://www.hosp.jikei.ac.jp>

外来手術室が中央棟にリニューアルオープン

来る5月31日(月曜日)より旧外来棟手術室が中央棟手術室に移転し、主として日帰り手術および術後に短期入院を要する手術(以下、短期入院手術とします)を行う外来手術室としてリニューアルオープンします。患者さんには、より良い環境で安心して手術を受けて頂けるものと期待しています。本特集では、当院における日帰り手術・短期入院手術の現状とともに、リニューアルされた外来手術室を皆さまにご紹介します。

1. 旧外来棟で行われてきた日帰り手術・短期入院手術(図1)

これまで当院における日帰り手術・短期入院手術は、旧外来棟手術室を利用して眼科を中心に、泌尿器科、皮膚科、形成外科、整形外科などが行ってきました。具体的には、眼科では白内障手術や硝子体手術、泌尿器科では前立腺針生検、皮膚科では皮膚・皮下腫瘍摘出術、形成外科では皮膚・皮下腫瘍摘出術や眼瞼下垂症手術、整形外科では手根管開放術や骨内異物除去術などがそれぞれの診療科で実施件数の

診療科	2019年度外来棟手術件数
眼科	3,013
泌尿器科	313
皮膚科	290
形成外科	286
循環器内科	143
整形外科	124
腎臓・高血圧内科	53
上記以外の診療科	78
乳腺外科	23
消化器・肝臓内科	20
耳鼻咽喉科	15
歯科	7
心臓外科	7
下部消化管外科	6
総計	4,300

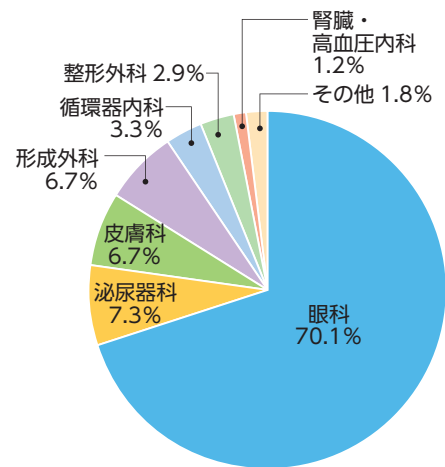


図1 2019年度の科別外来手術件数・割合

多い手術です。また循環器内科の経食道心臓超音波検査や腎・高血圧内科の内シャント増設術、さらに最近では消化器・肝臓内科の肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法も旧外来棟手術室で行われました。ほとんどは局所麻酔下での手術で、2020年度こそ新型コロナウイルスの影響で手術件数が減少しましたが、2019年度は4300件の手術実績があります。この数は、中央棟手術室で行われる全身麻酔下手術と合わせた年間総手術件数の30%近くにのぼり、全国的に見ても規模の大きな外来手術室として存分に役割を果たしました。

2. 旧外来棟手術室の中央棟への移転(写真1)

2020年1月に新外来棟がオープンし、旧外来棟を利用する診療が限定的になったため、旧外来棟手術室の機能を中央棟手術室内に移転する運びとなりました。もともと中央棟手術室は3階と4階の2フロアにそれぞれ9室、合計18室を有していました。この中には、心臓外科・脳神経外科・整形外科・肝移植で使用するバイオクリーンルーム、鏡視下手術専用手術室、血管撮影装置・ナビゲーション併設手術室、ロボット手術用手術室、また気道感染症のある患者さんの手術時に必要な陰圧室が含まれます。以上の18室に加え、新外来棟には手術室4室が新設されました。この4室は中央棟手術室3階部分と通路で接続されているので、中央棟手術室および新外来棟手術室合わせた22室が一体化されました。

このたびの移転にあたり、これまで旧外来棟で行っていた日帰り手術・短期入院手術



写真1 中央棟外来手術室3室

は、22室のうち中央棟手術室4階部分の3室を使用していることとなります。手術室数としては決して多くありませんが、1件あたりの手術時間が短いので、安全に手術を遂行するには十分な手術室数です。このほか、受付や患者さん用のラウンジ(待合スペース、更衣室、ロッカー、トイレなどを備えます)、また前処置や術後経過を観察するための回復室などが新設されました。以上を合わせ持つ新しい外来手術室に移転することで、患者さんにとっての利便性や機能性の向上が図られます。

3. リニューアルされた外来手術室の概要と手術当日の流れ(写真2)

日帰り手術・短期手術を受ける患者さんは、手術当日、まずは中央棟4階の外来手術室受付にお越しいただきます。受付にて担当看護師が体温や体調などを問診を通して確認致します。発熱や体調不良などが認められれば、その時点で手術は延期にさせて頂く可能性があります。その後、患者さん用のラウンジにご移動いただき、更衣室で術衣(ガウン)に着替え、手術室に移動するまでお待ちいただきます。眼科手術では、この間に点眼薬(散瞳薬、抗菌薬)で前処置を致します。

外来手術室ラウンジを出ると、すぐ手術室があります。執刀医、担当看護師とともに名前や手術内容などを再度確認し、いよいよ手術開始となります。

手術が終了したら、必要に応じて回復室でしばしお休みいただきます。手術をした部位や体調に問題ないことが確認できたら、再び更衣室で着替え、術後薬の服用方法や帰宅後の注意点などを説明させていただき、会計後ご帰宅になります。また手術後そのまま入院になる患者さんは、手術終了後に着替えとお荷物と一緒に入院病棟まで看護師がご案内致します。



写真2 外来手術室ラウンジ

4. 中央棟外来手術室の環境、手術機器の整備と管理(写真3・4)

リニューアルされた中央棟外来手術室は、手術室内はもちろん、患者さん用ラウンジと回復室の換気量も変換工事が施され、常に清潔な環境が維持できるよう工夫されています。手術室内の清掃や温度管理のほか、手術室への患者さんや医療スタッフの入室経路、手術に使用する機材の搬入経路、医療廃棄物の搬出経路などを常に監視し、最新の知見に基づいた手術室の清潔管理を行っています。また、院内感染対策室の指導のもと手術部位感染のリスク因子を解析し、米国における手術部位感染防止のためのガイドラインを遵守し、各診療科の執刀医や看護師とともにその発生予防に努めています。このような取り組みは、術後の感染症の発生予防につながります。

様々な技術革新が進んでいる医療機器は、その使用方法も高度で年々複雑化しており、専門的な知識が医療機器の安全管理に求められます。手術室には専門性の高い臨床工学技士が手術室に常駐し、医療機器の管理と点検を行っています。トラブルを未然に防ぐため手術前後に医療機器の点検を行うほか、手術室内で使用している医療機器の正常作動や安全確認を随時行っています。

以上、手術を受けられる患者さん全員が最適な環境と手術機器の中で安心して手術にのぞむことができ、また手術が適切かつ円滑に行われ、術後一日も早く治癒に至りますよう、我々手術部スタッフ一同、これからも全力で任務にあたります。



写真3 眼科手術用顕微鏡



写真4 白内障手術装置